

# ともだち



人と人との出会いを大切に  
笑顔の輪を広げましょう

たかさき し こくさいこうりゅうきょうかいかいほうだい とう  
高崎市国際交流協会会報第114号

2024.2

## ◆トピックス(2023年12月～2024年1月)

### ■新規日本語ボランティア養成講座

11月5日、12月3日に日本語教室での学習支援ボランティアを希望する人を対象とした講座が、中央公民館で開催されました。参加者16人は、関東学院大学ヤン・ジョンヨン先生から日本語ボランティアの役割と日本語指導の基礎についての講義を受け、秋の日本語教室の見学もしました。参加者からは「日本語ボランティアがどのようなものを具体的に理解できた」「実際の教材を用いて、授業の時間配分や組み立て方を教えていただきとても勉強になった」などの感想が寄せられました。冬の日本語教室から6人が新たにボランティアとして活動を始めています。(コミュニケーション支援部会)



### ■子ども日本語学習支援ボランティア ステップアップ研修



12月10日、中央公民館で、日本語を母語としない子どもたちの日本語や教科の学習をサポートするボランティアの研修が行われ、当協会のボランティア

7人のほか、前橋を拠点に支援を行う団体「VAMOS」のボランティア1人が参加しました。テーマは「外国籍の生徒の高校進学と支援の在り方」で、支援する子どもたちの高校進学に向けて、どのようなサポートができるか考えたいと、多数のボランティアから要望されたものでした。講師はNPO法人Gコミュニティ代表理事・本堂晴生氏と日本語指導スーパーバイザー(JSV)・新井範子氏。民間と学校現場の話聞いた後、率直な質疑応答が行われました。参加者からは、「(令和6年度入試から外国人選抜について対象や受験科目等への配慮が拡充されることを聞き)、入試制度が少しずつ外国籍の子どもたちにとって良くなっていることを知り、希望を感じた」「普段の学習支援では、学校生活と学習についてばかり考え、学校外の地域での生活までは気がまわっていないが、そういう視点も大切だとわかった」「日頃悩んでいる課題(学習支援と発達障がい)について、意見とアドバイスがもらえたので良かった」などの感想が寄せられました。

(子ども日本語学習支援者グループ)

### (2.3) 外国人の子どもが日本の社会で生きていくために抱えがちな問題

- 日本語の読み書きが不十分  
～ 学校の授業についていきにくい
- 親が日本の学校のことをよくわからない  
～ 学校のことを親に相談しにくい
- 親を見ていても自分の将来を描きにくい  
～ 日本の社会での選択肢が少ない

日本語力に起因する問題が多い。



### ■外国人のための法律相談

12月17日、中央公民館で、外国人のための法律相談が群馬県観光物産国際協会との共催で行われました。9か国12人の外国人が通訳者とともに、弁護士、行政書士、社会保険労務士に相談しました。主な相談内容は、年金、遺産相続でした。(事務局)

こがく ようせいこうざ  
**■語学ボランティア養成講座**  
 えいかいわこうざ  
 ~ブッククラブの英会話講座~

10月18日から12月20日の毎週水曜日、語学ボランティア養成講座「ブッククラブの英会話講座」が開催されました。講師は高崎市国際交流員の高橋アレックスさんで、参加者は11人でした。ブッククラブは英語圏の国で人気の活動で、読書が好きな人が集まって課題図書を決め各自読み、次の集まりの時に本の内容についてディスカッションをする活動です。

全10回の講座では『オズの魔法使い』を英語で読み、最終日には映画版を観ました。参加者のほとんどが英語で本を読むのが初めてでしたが、難しい文法や知らない単語を覚えながら最後まで前向きな姿勢で学習に取り組みました。「宿題が多くて大変だったが、勉強になった」「英語で本を読むことにチャレンジできて良かった」などの感想が参加者から寄せられました。

(事務局)



はっしんじぎょう  
**■COOL TAKASAKI発信事業**  
 しんしゅんえんそうかい  
 ~新春演奏会~

1月13日、中央公民館でバイオリニスト・松橋瑞穂さん（高崎市出身）と、ピアニスト・黒沢真木子さん（藤岡市出身）による新春演奏会が開催されました。ベートーヴェンやショパンといった定番クラシックに加え、タンゴや童謡なども披露され、45人の参加者はバイオリンとピアノが奏でるハーモニーに聴き入っていました。



演奏終了後にはQ&Aの時間がありました。練習は好きだったかの質問に、松橋さんは「母親、先生共に厳しくて大嫌いだった」と答えたのに対し、「練習が大好きだった。単純作業が好きなのでピアノ練習曲も苦にならなかった」と黒沢さんが答え、対照的な回答に会場が沸きました。アンコールの声もかかり、和やかな雰囲気での演奏会となりました。

(事務局)

Program

1. ロマンズ第2番：L. ベートーヴェン
2. エル・チョ・クロ：A. ピジョルド
3. 日本の郷愁メドレー 故郷～夕焼け小焼け～赤とんぼ  
-休憩-
4. トロイメライ：R. シューマン
5. 幻想即興曲：F. ショパン
6. G線上のアリア：J.S. バッハ
7. タイス：L. ガレ

ねん  
**◆おしらせ(2024年3月)**

せかい くらし しんはっけん  
**■世界の暮らし 新発見**

●日時=3月10日(日曜日) 午前10時~12時30分 ●場所=中央公民館(末広町) ●対象=市内の小学4年生~中学生 ●定員=先着20人 ●費用=無料 ●内容=ALTと元青年海外協力隊員を講師に、北米、フィリピン、パナマについて子どもたちの身近な話題をとおして学ぶ ●申込=2月29日(木曜日)までに協会HPのGoogle Formから

はっしんじぎょう りょうりきょうしつ  
**■COOL TAKASAKI発信事業~タイ料理教室~**

●日時=3月11日(月曜日) 午前10時~午後1時 ●場所=市民活動センターソシアス(足門町) ●対象=市内在住・在勤の人 ●定員=先着20人(うち会員枠5人) ●費用=1000円 ●内容=タイ料理レストランLaithaiの佐野さりささんからタイ料理(3品)の作り方を学び、タイについての話も聞く ●申込=会員先行申込は2月12日(月曜日)から16日(金曜日)までに、件名に「タイ料理教室」、本文に名前(ふりがな)、住所、電話番号、メールアドレスを書いてメールで事務局まで。一般申込は2月21日(水曜日)から

高崎市内の外国にゆかりのある場所やそれにまつわる人を紹介します。

第5回

こうずけさんび  
上野三碑



山上碑



多胡碑



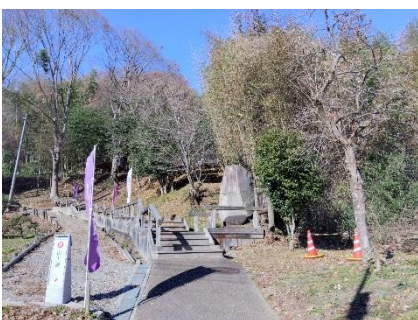
金井沢碑

写真提供・高崎市教育委員会

上野三碑とは高崎市南部地域にある、飛鳥・奈良時代に造立された三つの石碑(山上碑、多胡碑、金井沢碑)の総称です。日本に18例しか現存しない古代の石碑の中で最古の石碑群と言えます。

山上碑(681年建立)は、200段の階段の上に古墳とともにあります。母のことを思い、僧になった息子が建てた石碑で、6世紀頃の新羅(朝鮮)のものと類似しています。完全な形で残る碑として、また日本語順に漢字を記した碑として日本最古です。多胡碑(711年建立)の碑の内容は、上野国の片岡郡、緑野郡、甘良郡の三郡内から三百戸を分けて新たに多胡郡を設置したことを示しています。笠石があったため上部の文字の保存状態が良いです。金井沢碑(726年建立)は、当時の女性が結婚後も実家の氏で呼ばれていることが伺える碑文で、中でも群馬の文字は県内最古です。

三碑はいずれも、国の特別史跡に指定されており、2017年にはユネスコの「世界の記憶」に登録(国際登録)されました。



山上碑へ続く階段

石碑を建てる文化は、中国から朝鮮半島を経由し、飛鳥時代にもたらされました。国内に現存する平安時代以前に建てられた石碑のうち、こ

のように三碑が集中していることは、当地域に漢字や石碑などの渡来文化に通じる人々が存在していたこと、特に新羅系の人がたくさん来ていて、国際的な交流があったことを示しています。多胡碑に関しては楷書体の文字が素晴らしいので、江戸時代末期に拓本が中国に伝わった記録もあるそうです。1300年前の東アジアの文化交流を示す貴重な石碑群です。

三碑をめぐるには「上野三碑めぐりバス」もあり、車窓からのどかな田園風景を見ながら移動のんびりめぐるのもおすすめです。多胡碑の隣には記念館があり、たくさんの資料とともに三碑のレプリカを見ることができます。



多胡碑記念館

■山上碑 ■住所:高崎市山名町字山神谷 2104・駐車場:有り(無料)・トイレ:有り・交通:「山名駅」「西山名駅」から徒歩 20 分。

■多胡碑 ■住所:高崎市吉井町池 1095・駐車場:有り(無料)・トイレ:有り・交通:「吉井駅」から徒歩 30 分

■金井沢碑 ■住所:高崎市山名町金井沢 2334・駐車場:有り(無料)・トイレ:有り・交通:「根小屋駅」から徒歩 10 分

●上野三碑めぐりバスや詳しい情報は HP を見てください  
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/info/sanpi/index.html>

